

NO. 1	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	6	竹 田 努	
<p>1. 災害対策について</p> <p>2011年3月11日の東日本大震災以降、町民の災害に対する目線が変わってきたのではないのでしょうか。町も津波避難計画の策定や津波防災マップを作成しました。さらには12年ぶりの木古内町地域防災計画の見直しや毎年行われている防災訓練等により、災害時の避難等に対する意識も浸透してきているものと思われま</p> <p>木古内町では、北海道南西沖地震以降、大きな災害はありませんが近年、国内各地では台風による大雨や竜巻等によって大きな災害が発生し、そして尊い命まで奪うという被害が多く見受けられています。</p> <p>その点、我が木古内町は、安心して安全な町であると言えます。しかし、災害等に対する備えは万全でしょうか。自信を持って安全であると言えるような町であってほしいという観点から、何点か町長の考えを伺います。</p> <p>(1) 台風等による大雨の際の、木古内川の氾濫の心配であります。木古内川は現在、北海道が河川改修事業を行っていますが、各地の被害実態を見ると、いままでに経験したことのない大雨や想定外の雨量を考えたとき、現状の堤防で大丈夫なのでしょうか。河川は、50年確率、100年確率という統計に基づいて整備していますが、特に、JR鉄道橋下流、国保病院、朝日団地周辺は、万が一、堤防が決壊した場合を想定した水害対策についての考えは。</p> <p>(2) 町内にある各河川は、管理する部署が異なりますが、各河川内の立木処理対策については町政懇談会でも要望が出されている問題でもあり、早急に対応すべきと考えますが。</p> <p>(3) 災害時の防災用品等の備蓄状況は。</p>			町 長

2. ごみ処理手数料の無償化について

町 長

1 1月5日に開催された第7回木古内町議会臨時会で、職員の不祥事について行政報告が行われましたが、今後の具体的な再発防止策については示されなかったと思っています。再発防止策の一つとして、ごみ処理手数料の無償化について検討すべきと求めましたが、政策に関わる問題だとして撤回した経緯がありますが、改めてごみ処理手数料を無償化することにより、現金を扱わないことから事故防止策にもつながると考えます。

臨時会での町長答弁でも、「悪いことをしようと思えば、どんなことをしても起こりうる。」と示唆しています。

このようなことから、再発防止策として、あるいは特に若い子育て世帯や高齢者世帯等など、町民への負担軽減策として、ごみ処理手数料を無償化すべきと考えますが、町長の考えを伺います。

また、平成18年度で値上げの改定をし、財政の好転から本年度で値下げの改定を行いましたが、この間、町民の反響を含めどのように分析し評価しているのか伺います。